

「ファイアライトプラス」の国内における本格的発売を開始

～ 急熱・急冷に強く、衝撃安全性を兼ね備えたガラスとして、

国内で初めて特定防火設備の認定を取得 ～

9月1日の防災の日より、特定防火設備用ガラス<ファイアライトプラス>の日本国内における本格的な発売を開始いたします。

<ファイアライトプラス>は、2枚のファイアライトで特殊樹脂を挟んで合わせガラスにすることにより、ファイアライトの特長である「耐熱衝撃性」に新たに「衝撃安全性」をプラスした製品です。

<ファイアライト>は、800℃に熱した後に、冷水をかけても割れないほど熱衝撃に強く、ガラス素材で初めて特定防火設備として認定を受けた超耐熱結晶化ガラスです。

■ファイアライトプラスの特性

・優れた耐熱衝撃性

ファイアライトの優れた防火性能(急熱・急冷に強い)をもつ。
⇒火災時のスプリンクラーや消火活動の際の放水にも割れない。

・高い衝撃安全性

衝撃で割れた場合でも破片の落下や飛散の恐れが少ない。
⇒生徒たちがアクティブに体を動かす学校や、さまざまな人が集まる公共施設、医療施設などに最適。防災意識の高い米国では既に販売されており、好評を博している。

■ファイアライトプラスの認定

国内

特定防火設備性能評価確認試験に合格。急熱・急冷に強く、衝撃安全性を兼ね備えたガラスとしては、国内で初めて特定防火設備の認定を取得。

認定品：耐熱合わせガラス[ファイアライトプラス]入鋼製はめ殺し窓(欄間付)

認定番号：EA-0245、認定最大寸法：1,200×3,555mm

海外

製品の安全性を保証するUL規格(米国の認証機関 Underwriters Laboratories Inc.によって認定される製品規格)に適合した、防火ガラスかつ安全ガラス。

■発売開始日

2010年9月1日より、日本電気硝子(株)の建材代理店「電気硝子建材株式会社」が販売開始。



▲ ファイアライトプラス断面写真